

映像音響学科履修科目一覧表

科目	1年次		2年次		合計	担当	実務経験のある教員等による授業
	前期	後期	前期	後期			
音響理論Ⅰ	2				2	竹田智明	○
音響理論Ⅱ		2			2	竹田智明	○
ビジネストレainingⅠ	2				2	掛場泰行	○
ビジネストレainingⅡ		2			2	掛場泰行	○
作品研究Ⅰ	3				3	上野克	○
作品研究Ⅱ		3			3	上野克	○
電気電子基礎Ⅰ	1				1	掛場泰行	
電気電子基礎Ⅱ		1			1	掛場泰行	
ノンリニア編集Ⅰ	3				3	大谷内真郷	○
ノンリニア編集Ⅱ		3			3	大谷内真郷	○
イラストレーターフォトショップⅠ	3				3	中越豊子	○
イラストレーターフォトショップⅡ		3			3	中越豊子	○
音響実習Ⅰ	4				4	竹田智明	○
音響実習Ⅱ		4			4	竹田智明	○
撮影実習Ⅰ	4				4	大谷内真郷	○
撮影実習Ⅱ		4			4	大谷内真郷	○
デジタルサウンドⅠ	3				3	清水目千加子	○
デジタルサウンドⅡ		3			3	清水目千加子	○
映像理論Ⅰ	2				2	大谷内真郷	○
映像理論Ⅱ		2			2	大谷内真郷	○
照明実習Ⅰ	2				2	土田充	○
照明実習Ⅱ		2			2	土田充	○
シナリオ論Ⅰ	2				2	坂本義昭	○
シナリオ論Ⅱ		2			2	坂本義昭	○
集中講義Ⅰ		1			1	招待講師	○
小計	31	32	0	0	63		
音響技術Ⅰ／デジタルサウンドⅢ			3		3	竹田智明/清水目千加子	○
音響技術Ⅱ／デジタルサウンドⅣ				3	3	竹田智明/清水目千加子	○
DTP実習Ⅰ／映像デザインⅠ			3		3	前伊知郎/森崎和宏	○
DTP実習Ⅱ／映像デザインⅡ				3	3	前伊知郎/森崎和宏	○
就職対策Ⅰ			2		2	掛場泰行	
就職対策Ⅱ				2	2	掛場泰行	
モーショングラフィックス			2		2	大谷内真郷	○
卒業制作				2	2	大谷内真郷	○
イベント実習Ⅰ			3		3	大谷内真郷	○
イベント実習Ⅱ				3	3	大谷内真郷	○
広告論			2		2	大久保浩秀	○
DTM実習Ⅰ			3		3	船崎康介	○
DTM実習Ⅱ				3	3	大谷内真郷	○
課題制作			3		3	大谷内真郷	○
映像制作Ⅰ			6		6	中村俊彦	○
映像制作Ⅱ				7	7	中村俊彦	○
集中講義Ⅱ			2		2	招待講師	○
集中講義Ⅲ				2	2	招待講師	○
小計	0	0	29	25	54		
合計	31	32	29	25	117		
実務経験のある教員等による授業単位数合計	30	31	27	23	111		1,665単位時間

* 表中の数字は単位数(50分授業を15週で1単位)

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	1	科目区分	(必修) 選択
科目名	音響理論 I・II	授業形態	(講義) 演習・実習		
開講期	前期・後期 (通年) 単位	4単位	週または年コマ数	週2コマ	
担当教員	竹田 智明	使用テキスト	映像音響設備マニュアル プロ音響データブック 劇場音響技術教書		
担当教員 実務経験概要	音響会社勤務においてPA、録音ミックス、MAの業務に従事。 2003年独立し個人事業所開業、現在まで同業務に携わる。				
授業概要 および 学習目標	音響業務に携わるために必要とする知識を音響理論、音響機器の機能の理解、 使用方法などを学習する。舞台機 構調整技能士3級合格の必要知識を学習する。				
授業計画	4月	音響基礎理論 音響調整卓の機能説明			
	5月	音響基礎理論 電子回路の基礎 マイクロフォンの機能、役割、種類説明			
	6月	電子回路の基礎 イコライザー、ダイナミクスエフェクターの説明 中間考査			
	7月	パワーアンプ スピーカーの説明 周波数特性、位相の説明 音響仕込み図 期末考査			
	8月				
	9月				
	10月	デジタルオーディオの基礎 デジタルミキサー概要 DAW概要 スタジオ使用方法説明			
	11月	さまざまな楽器へのマイクセッティング 録音方法説明			
	12月	各種機器のメンテナンス方法 音響機器測定方法 調整方法 各データの見方の説明			
	1月	各種ケーブルの説明 舞台、日本の芸能の歴史 舞台ホールの説明 使用時注意事項			
	2月	学年末考査			
3月					
成績評価	中間考査 期末考査を実施し点数評価 出席状況を加味します				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	1年	科目区分	必修・選択
科目名	ビジネストレーニング I・II	授業形態	講義 演習・実習		
開講期	前期・後期(通年) 単位	4単位	週または年コマ数	週 2 コマ	
担当教員	掛場 泰行	使用テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト		
担当教員 実務経験概要	高等学校の数学教諭を経て、現在の学校にて数学系と就職に関わる ビジネストレーニングを20年以上担当				
授業概要 および 学習目標	急激な経済環境の変化やビジネス社会の構造変化の中「ビジネス社会の 全体像の把握と実務に即した知識・技術の向上」が求められている。その中で 社会情勢を踏まえ、就活支援とビジネス能力のレベルアップを目標とする。				
授業計画	4月	キャリアと仕事へのアプローチ、8つの意識			
	5月	コミュニケーションとビジネスマナーの基本ルール			
	6月	入社から退社までと休暇のルール。報告・連絡・相談			
	7月	敬語の種類と必要性、来客・訪問対応のマナー			
	8月	夏期休暇			
	9月	同上			
	10月	会社と仕事への取組み方			
	11月	ビジネス文書の役割と書き方(社内文書・社外文書)			
	12月	電話対応、電子メールの活用			
	1月	表とグラフの役割と特徴、情報収集とメディアの活用			
	2月	日本経済の基本構造と変化、求められる人材の変化			
	3月	春期休暇			
成績評価	授業中の学習態度 定期テストの成績 12月に行われるビジネス能力検定ジョブパス3級の合否				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1年	科目区分	(必修)選択
科目名	作品研究 I・II		授業形態		(講義)	
開講期	(通年)	単位	6単位	週または年コマ数		週3コマ
担当教員	上野克		使用テキスト		特になし	
担当教員 実務経験概要	石川県金沢市のミニシアター「シネモンド」支配人として、映画館業務に携わる。 金沢コミュニティシネマ代表として、小学生を対象に映画に親しむワークショップ「こども映画教室」の運営にも携わる。					
授業概要 および 学習目標	映像と音響は相互に影響し合い、新しい作品や商品が生まれ続け積み重なり、また新たな表現が生まれていきます。 世界で最初の映画をはじめとした様々な作品に触れ、作品と向き合うことで、自分ならではの視点と感性を育むことを目的とします。					
授業計画	4月	ガイダンス、作品研究				
	5月	作品研究				
	6月	作品研究				
	7月	作品研究				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	作品研究				
	11月	作品研究				
	12月	作品研究、冬期休暇				
	1月	冬季休暇、作品研究				
	2月	作品研究				
	3月					
成績評価	レポート評価					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	1年	科目区分	必修・選択
科目名	電気電子基礎 I・II	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・ 通年 単位	2単位	週または年コマ数	週 1 コマ	
担当教員	掛場 泰行	使用テキスト	新入生のための電気工学		
担当教員 実務経験概要	高等学校の数学教諭を経て、現在の学校にて数学系と就職に関わる ビジネストレーニングを20年以上担当				
授業概要 および 学習目標	映像音響学科では電気の知識が必要となる。しかし、「数学嫌い」な学生が 少なくなく、電機の授業を進めるにはかなりの障害となる。そのような学生に 最低限の数学を理解してもらい、電気基礎の習得を目標とする。				
授業計画	4月	電気の基礎知識			
	5月	直流回路			
	6月	電力と電力量			
	7月	電気抵抗			
	8月	夏期休暇			
	9月	同上			
	10月	電流と磁気			
	11月	電磁力			
	12月	電磁誘導			
	1月	静電気の基礎			
	2月	交流回路の基礎			
	3月	春期休暇			
成績評価	授業中の学習態度 定期テストの成績				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1	科目区分	必修
科目名	ノンリニア編集Ⅰ・Ⅱ		授業形態	演習・実習		
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数	週3コマ	
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト	音響映像設備マニュアル		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。					
授業概要 および 学習目標	Adobe Premiere AfterEffectsの使用方法を理解し、課題を制作する					
授業計画	4月	MACの操作と使用ソフトの基礎				
	5月	Premiere操作 基礎 ウィンドウの種類と用途 編集方法				
	6月	Premiere操作 応用 フォーマット、オーディオ、テロップほか				
	7月	課題制作				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	AfterEffectsの基礎 ウィンドウの種類と用途 キーフレーム				
	11月	AfterEffectsの応報 簡易アニメーションの作成方法と書き出し				
	12月	Premiere AfterEffectsを用いた課題制作				
	1月	Premiere AfterEffectsを用いた課題制作				
	2月	進級課題制作				
	3月					
成績評価	アプリケーションの習得度と課題					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1	科目区分	必修
科目名	イラストレーターフォトショップ I・II		授業形態	演習・実習		
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数	週3コマ	
担当教員	中越 豊子		使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと身につくPhotoshopの教本 ・きちんと身につくIllustratorの教本 		
担当教員 実務経験概要	デザイン事務所・印刷会社にデザイナーとして勤務。広告やパンフレットなど印刷物全般を作成。 現在フリーランスでグラフィックデザイン・イラストレーションを請け負う。					
授業概要 および 学習目標	映像素材の作成やポスターなどのデザイン業務全般に必須のPhotoshopとIllustratorを学び、 写真の適切な調整や加工、また、デザインレイアウトのためのスキル習得を目指す。					
授業計画	4月	Photoshopの基本ツール、画像解像度などについて				
	5月	画像の切抜き・合成・補正について				
	6月	画像の修正、レイヤーマスクや調整レイヤーについて				
	7月	文字とシェイプについて 作品制作				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	Illustratorの基本ツール、描画の仕方について				
	11月	塗りや線、文字について				
	12月	レイヤーパネル、アピアランスについて				
	1月	効果やマスクによる加工、データ書き出しについて 作品制作				
	2月	作品制作				
	3月					
成績評価	筆記・実技テストの点数、提出作品の充実度で評価する					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	音響実習 I・II		授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・ 通年	単位	8単位	週または年コマ数	週4コマ	
担当教員	竹田 智明		使用テキスト	映像音響設備マニュアル プロ音響データブック 劇場音響技術教書		
担当教員 実務経験概要	音響会社勤務においてPA、録音ミックス、MAの業務に従事。 2003年独立し個人事業所開業、現在まで同業務に携わる。					
授業概要 および 学習目標	音響業務に携わるために必要とする基本技術を習得する 舞台機構調整技能士3級合格の必要技能を習得する。					
授業計画	4月	スタジオ紹介 PAアナログミキサー使用の簡素なセッティングによる音出し				
	5月	アナログミキサー各入出力からの接続 ケーブル、マイクスタンドの扱い方の習得				
	6月	アナログミキサー各機能の使用法、スピーカーのチューニング方法の習得 中間考査実技試験				
	7月	PA仕込み図の作成 仕込み図(いくつかの事例)を元にしたセッティング 期末考査実技試験				
	8月					
	9月					
	10月	デジタルミキサー使用方法説明 音声調整方法の習得				
	11月	レコーディングスタジオでの録音方法習得 ProTools 使用方法学習				
	12月	レコーディングスタジオでの様々な形態での録音 録音された音声のミックス				
	1月	音声ミックス時のエフェクター使用方法の習得				
	2月	期末考査実技試験				
	3月					
成績評価	中間考査 期末考査 実技試験を実施し点数評価 出席状況を加味します					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1	科目区分	必修
科目名	撮影実習 I・II		授業形態	演習・実習		
開講期	通年	単位	8単位	週または年コマ数	週4コマ	
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト	音響映像設備マニュアル		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。					
授業概要 および 学習目標	撮影機材の基本的な使い方を理解し、操作ができるようになる。 撮影用語の意味を理解する。					
授業計画	4月	カメラ 三脚など撮影機材の基本的な取り扱い				
	5月	マイクなど音声、照明機材の取り扱い				
	6月	撮影内容に準じた準備とプラン 実際				
	7月	グループ課題制作				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	機材使用の応用 特殊機材の取り扱い				
	11月	グループ課題制作 番組				
	12月	グループ課題制作 CM				
	1月	グループ課題制作 自由課題				
	2月	進級課題制作				
	3月					
成績評価	授業態度と実技試験					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1年	科目区分	必修・選択
科目名	デジタルサウンド I・II		授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・ <u>通年</u>	単位	6単位	週または年コマ数	週3コマ	
担当教員	清水目千加子	使用テキスト	一番よくわかる楽典入門、Cubase Proで始めるDTM&曲作り、ミュージッククリエイターハンドブック			
担当教員 実務経験概要	作曲家、編曲家としての作品はオーケストラ、吹奏楽、合唱、室内楽まで多岐にわたる。教育者としては、大学院修了後より音楽専門学校、大学で作曲、鍵盤和声法、創作演習、ソルフェージュ、コンピューターミュージックの授業に携わってきた。					
授業概要 および 学習目標	音楽制作ソフト Cubase Pro を使って楽曲のMIDIデータの入力と編集、ミキシングをします。教材はスコアですので、楽譜の読み方や楽曲の構成、楽器の特徴を学びます。さらにMIDI検定3級を取得するためにDTMの基礎を関連付けながら学習し、専門知識、技能を深めます。					
授業計画	4月	楽譜を読むための楽典基礎の学習と CubasePro の操作説明				
	5月	「課題曲1」楽譜の入力（メロディ、ピアノ）と簡単なミキシング				
	6月	前期中間試験：基本的な楽典の試験				
	7月	「課題曲2」楽譜の入力（メロディ、ピアノ、ベース、ギター）				
	8月	前期末試験：4声部程度の楽譜の入力				
	9月	夏期休暇				
	10月	前期末試験の音出しとMIDI検定試験対策				
	11月	MIDI検定試験対策 後期中間試験ではMIDI検定試験模擬テストを実施する				
	12月	「課題曲3」楽譜の入力（メロディ、ピアノ、ベース、ギター、ドラム）				
	1月	コードトラックを用いた3部形式の楽曲制作				
	2月	学年末試験：コードトラックを用いた3部形式の作品発表				
	3月					
	成績評価	定期試験とMIDI検定試験を基準とし、出欠状況、学習態度を総合的に評価する。				
その他	課題曲についてはその都度プリントを配布する。					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1	科目区分	必修
科目名	映像理論 I・II		授業形態	演習・実習		
開講期	通年	単位	4単位	週または年コマ数	週2コマ	
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト	音響映像設備マニュアル		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。					
授業概要 および 学習目標	テレビ技術、映像制作における基礎的な理論を理解する					
授業計画	4月	光と色の成り立ち 光の性質 色の基礎知識				
	5月	テレビや映像の基礎概念と変遷				
	6月	映像信号の種類と同期信号				
	7月	次世代フォーマット 試験対策				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	デジタル信号の成り立ち、ファイルの種類と用途				
	11月	ファイル形式の実際と特徴 ネットワーク				
	12月	編集システムの基礎 システム構築				
	1月	メディアの変遷と種類				
	2月	試験対策				
	3月					
	成績評価	筆記試験				
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1	科目区分	必修
科目名	照明実習Ⅰ・Ⅱ		授業形態	演習・実習		
開講期	通年	単位	4単位	週または年コマ数	週2コマ	
担当教員	土田 充		使用テキスト	舞台・テレビジョン照明 基礎編		
担当教員 実務経験概要	舞台照明業務を担う会社の代表のほか、同業界の組合理事な担当。					
授業概要 および 学習目標	舞台照明における歴史、実際に運用するうえで必要となる知識や技術を実習を交えて学ぶ。					
授業計画	4月	舞台照明の歴史 基礎				
	5月	舞台の構造と機構 ホール見学				
	6月	機材の種類と実際 グループ実習				
	7月	機材の種類と実際 グループ実習				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	前期の振り返り				
	11月	前期の振り返り				
	12月	グループ演習の準備				
	1月	グループ演習の準備				
	2月	グループ演習とホール見学				
	3月					
成績評価	授業態度と実習レポート					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	1年	科目区分	必修・選択
科目名	シナリオ論 I・II		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4単位	週または年コマ数		週 2 コマ
担当教員	坂本 善昭		使用テキスト		「シナリオの基礎Q&A」新井一/原島将郎著/ダヴィッド社刊 およびオリジナルプリント	
担当教員 実務経験概要	フリーライターとして1970年前後より全国及び地方テレビ・ラジオ番組企画構成、出版物企画編集などに従業。近年は金沢を拠点にメディアプランナーやドラマ制作など。					
授業概要 および 学習目標	日常視点から、物語性の創出や社会との関わりを意識しつつ、「シナリオ」作りにたずさわることを学ぶ。そのためのケーススタディや作品鑑賞、および実技などを積み重ね、オリジナルなシナリオ作成への興味喚起と技術習得をはかる。					
授業計画	4月	シナリオとは何かや、プレゼンテーションによる自己表明を学ぶ				
	5月	さまざまなシナリオ用語を理解する				
	6月	作品鑑賞などを通して、ドラマの構成を学ぶ				
	7月	考現学などを通して、日常と社会のあり方や観察による表現力を学ぶ				
	8月	夏期休暇				
	9月	夏期休暇				
	10月	文芸名作の朗読や感想文作成から表現方法や創作手法を学ぶ				
	11月	ドキュメントとドラマの各手法を日常観察から探りつつ物語化する				
	12月	オリジナルシノプシスを課題として作成				
	1月	オリジナルシノプシスを課題として作成				
	2月	CMコンテンツなどによるストーリー化とアイデアのまとめ方を学ぶ				
	3月					
成績評価	出席・授業および課題提出作品の評価・年2回の試験による総合評価					
その他	各自が通年の課題作品をファイルして保存活用をはかれるようにしている					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	音響技術 I・II	授業形態	講義)演習・実習		
開講期	前期・後期(通年)単位	6単位	週または年コマ数	週3コマ	
担当教員	竹田 智明	使用テキスト	映像音響設備マニュアル プロ音響データブック 劇場音響技術教書		
担当教員 実務経験概要	音響会社勤務においてPA、録音ミックス、MAの業務に従事。 2003年独立し個人事業所開業、現在まで同業務に携わる。				
授業概要 および 学習目標	音響業務に携わるために必要とする様々な技術(PA、レコーディング、映像音声 収技術録等)を習得する。 舞台機構調整技能士3級合格の必要技能を習得する。				
授業計画	4月	PAにおける各スピーカーのチューニング 音圧調整 PAシステムプランニング			
	5月	PA同録方法(ProTools)の習得 少ないバンドメンバーのPA、音調整			
	6月	PA同録(ProTools) 同録された音源でのPA音調整(ProTools)			
	7月	生ライブPAミックス 生ライブ中継音声ミックス 実技試験 システムプランニング作成試験			
	8月				
	9月	公共音楽ホールにてプロ演奏家による演奏をProToolsでの録音(4コマ)			
	10月	映像音声収録方法説明 ProTools の様々な使用方法 前期収録分のCD制作のための音声ミックス			
	11月	前期収録分、ホール収録分のCD制作(卒業制作)のための音声ミックス			
	12月	CD制作(卒業制作)のための音声ミックス WAVE LAB によるマスタリング			
	1月	CD制作のための音声マスタリング WAVE LAB			
	2月	学年末考査			
3月					
成績評価	中間考査 期末考査 実技試験を実施し点数評価 卒業制作物の評価 出席状況を加味します				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	2年	科目区分	必修・選択
科目名	デジタルサウンドⅢ・Ⅳ	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	6単位	週または年コマ数	週3コマ
担当教員	清水目千加子	使用テキスト	Cubase Pro 9ではじめるDTM&曲作り		
担当教員 実務経験概要	作曲家、編曲家としての作品はオーケストラ、吹奏楽、合唱、室内楽まで多岐にわたる。教育者としては、大学院修了後より音楽専門学校、大学で作曲、鍵盤和声法、創作演習、ソルフェージュ、コンピューターミュージックの授業に携わってきた。				
授業概要 および 学習目標	音楽制作ソフト Cubase Pro を使用した作品制作。簡単なメロディでもサウンドメイクやアレンジのテクニック、演奏の工夫を積み重ねて独創的な世界観に仕上げる技術を習得する。				
授業計画	4月	Mozart作曲弦楽セレナーデを課題に用いて、入力をしながら Cubase Pro の操作を復習する。			
	5月	Mozart作曲弦楽セレナーデの楽曲分析と基本的なコード進行の学習			
	6月	メロディの創作とコード付け。前期中間試験で3部形式の作品発表を行う。			
	7月	3部形式の作品を弦楽四重奏の形に仕上げていく。			
	8月	前期末試験：弦楽四重奏曲の作品発表			
	9月	夏期休暇			
	10月	テキスト内の楽曲を用いてリズムセクション、コーラスなどのサウンドメイク、ストリングスのフレージングを学習する			
	11月	クリスマスソングのアレンジ。後期中間試験で作品発表			
	12月	卒業作品制作：これまでに学習した作曲法、サウンドメイク法を用いたDTM作品の創作。			
	1月				
	2月	学年末試験：卒業創作作品の発表			
3月					
成績評価	定期試験を基準とし、出欠状況、学習態度を総合的に評価する。				
その他	課題曲についてはその都度プリントを配布する。				

令和2年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2	科目区分	必修・ 選択
科目名	DTP実習 I・II		授業形態	講義・演習・ 実習		
開講期	前期・後期 通年 単位	6単位	週または年コマ数	3コマ		
担当教員	前伊知郎	使用テキスト	なし			
担当教員 実務経験概要	元デザイン系専門学校の常勤講師、広告を軸として、グラフィックデザイン・WEBデザイン・CM制作・写真・動画撮影をおこなう。					
授業概要 および 学習目標	Adobe Illustrator & Photoshopを使用しての課題制作。ロゴマーク、ポスター作成など課題を通してソフトの使い方やデザインの考え方を学ぶ。					
授業計画	4月	Illustratorの使い方				
	5月	Photoshopの使い方				
	6月	課題:ロゴマークの作成				
	7月	課題:ピクトグラムの作成				
	8月					
	9月	課題:ポスターの作成				
	10月	課題:ポスターの作成				
	11月	課題:雑誌の見開きの作成				
	12月	課題:雑誌の見開きの作成				
	1月	課題:卒業制作 リデザイン (CDジャケット・本・ペットボトルなど)				
	2月	課題:卒業制作 リデザイン (CDジャケット・本・ペットボトルなど)				
	3月					
成績評価	提出課題の評価(60%)・授業態度(20%)・出席数(20%)					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2	科目区分	必修・ 選択
科目名	映像デザイン I・II		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・ 通年	単位	6単位	週または年コマ数		週3コマ
担当教員	森崎和宏		使用テキスト		なし	
担当教員 実務経験概要	TV制作会社にてTV番組、CMの制作に携わり、独立。独立後は映像作家として企画、監督、撮影、編集を一貫して行いつつ、企業のブランディングなどの業務にも携わる					
授業概要 および 学習目標	各種SNSやYouTubeの発展により、映像メディアを活用する場面も増え、また目まぐるしく技術革新も起きています。そんな中で必要となる知識や技術の習得。学生自身の好奇心を表現できる技術の習得を目標とします。					
授業計画	4月	デジタル一眼カメラでの動画撮影(撮影・レンズ・光)				
	5月	撮影実習/プレビュー				
	6月	撮影時の構図/企画・構成について				
	7月	前記課題制作・発表				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	チームでの撮影現場				
	11月	後期課題:企画構成				
	12月	後期課題:撮影				
	1月	後期課題:編集				
	2月	課題発表				
	3月					
成績評価	出席状況・授業中の様子・作品のクオリティ					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	2年	科目区分	必修・選択
科目名	就職対策 I・II	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	4単位	週または年コマ数	週 2コマ
担当教員	掛場 泰行	使用テキスト	全解 SPI実践問題集		
担当教員 実務経験概要	高等学校の数学教諭を経て、現在の学校にて数学系と就職に関わる ビジネストレーニングを20年以上担当				
授業概要 および 学習目標	ここ最近の人材不足により、就職は大変良い状況ではあるが、本人の希望を叶えることは難しい。特に適正検査等の筆記試験で不合格となる学生が多いことから、多くの企業の採用試験で使われている「SPI」「一般常識」を学ぶ。				
授業計画	4月	言語問題(同意語・反対語・敬語) 非言語問題(鶴亀算・年齢算・濃度算)			
	5月	言語問題(包含関係・行為関係・原料関係・用途関係) 非言語問題(仕事算・水槽算・植木算)			
	6月	言語問題(複数の意味・語句の意味) 非言語問題(損益算・精算)			
	7月	言語問題(ことわざ・慣用句) 非言語問題(速度算・通過算)			
	8月	夏期休暇			
	9月	同上			
	10月	言語問題(整除問題) 非言語問題(順列・組合せ・確率)			
	11月	言語問題(長文問題) 非言語問題(集合・グラフ)			
	12月	SPI模擬試験 ① 一般常識 ①			
	1月	SPI模擬試験 ② 一般常識 ②			
	2月	SPI模擬試験 ③ 一般常識 ③			
	3月	春期休暇			
成績評価	定期試験 就職試験の合否				
その他					

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2年	科目区分	必修 選択
科目名	モーショングラフィックス		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期 後期・通年	単位	3単位	週または年コマ数		3コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		なし	
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。					
授業概要 および 学習目標	Adobe Premiere / AfterEffectsの応用と課題制作					
授業計画	4月	Premiere Aftereffectsの振り返りと応用操作				
	5月	個人課題 企業ロゴ モーショングラフィックス 企画と制作				
	6月	プレゼンと合評 個人課題 SNS広告動画制作				
	7月	個人課題 SNS広告動画制作				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月					
	11月					
	12月					
	1月					
	2月					
	3月					
成績評価	課題の評価					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2年	科目区分	必修 選択
科目名	卒業制作		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2単位		週または年コマ数	2コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		なし	
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学に勤務。					
授業概要 および 学習目標	卒業課題制作のスケジュールを立て、作業を行う。					
授業計画	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
	9月					
	10月	後期課題の整理と進捗 スケジュール作成				
	11月	課題制作				
	12月	課題制作 進捗の確認 プレゼン準備				
	1月	課題制作 修正 展示用の作品準備				
	2月	課題制作 卒業作品展 準備				
3月						
成績評価	課題の評価					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2年	科目区分	必修 選択
科目名	イベント実習 I・II		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期	通年	単位	6単位	週または年コマ数	3コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		なし	
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学に勤務。					
授業概要 および 学習目標	イベント運営の知識を習得し、学内イベントの運営を行う					
授業計画	4月	イベントの基礎知識 法規				
	5月	学内イベント① 役割分担 準備				
	6月	学内イベント① 役割分担 準備				
	7月	学内イベント①の実施と振り返り				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	学内イベント② 役割分担 準備				
	11月	学内イベント②の実施と振り返り				
	12月	学内イベント③の実施と振り返り				
	1月	学内イベント④ 役割分担と準備				
	2月	学内イベント④ 実施				
	3月					
成績評価	授業態度と課題の評価					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2	科目区分	必修	選択
科目名	広告論		授業形態		講義・演習・実習		
開講期	前期	後期・通年	単位	2単位	週または年コマ数		2コマ
担当教員	大久保浩秀		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要	広告キャンペーンの企画・制作に従事。資生堂ディシラ、日本スイミングクラブ協会、加賀温泉郷協議会、氷見市観光協会、ノジマ、北陸電力などの企画制作を担当。						
授業概要 および 学習目標	広告制作に関する知識と考え方、実践的な企画の技術やプレゼンテーションまでを総合的に学ぶ。						
授業計画	4月	広告の仕事の種類と効果を知る					
	5月	良い広告実例を考察する					
	6月	企画の考え方 そのアプローチの区分と実際					
	7月	企画制作及びプレゼンテーションの実践					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	授業態度と企画案						
その他							

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	DTM実習 I・II	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	6単位	週または年コマ数	3コマ
担当教員	舟崎康介	使用テキスト			
担当教員 実務経験概要	音楽クリエイターとしてCD、配信、TV、CM等の音楽の作曲、編曲、レコーディング、編集などを行う。DTM講師歴24年。				
授業概要	コンピューターで音楽または音を作る、編集するための知識、技術を習得する。映像を目指す学生にとっても切っても切れない「音」への理解を深める。また実際にあった音楽制作業務の紹介をしながら、現場の裏側を知り、普遍的なクリエイターの心得、仕事術を身に付ける。				
および					
学習目標					
授業計画	4月	1年生で習得していない点を中心にソフトの基本操作を学ぶ。			
	5月	オーディオとMIDIの違いを理解しながら作曲編曲を実践する。			
	6月	ミキシング、マスタリングの基礎を身につける。			
	7月	プロ現場のデータを公開。より高度な制作への理解を深める。			
	8月				
	9月				
	10月	オーディオレコーディングの基礎、編集技術を習得する。			
	11月	架空CM(映像)の音楽制作からオーダーワークの作曲について学ぶ。			
	12月	より多くの楽器パートで構成される音楽制作を実践する。			
	1月	プロ現場の仕事の流れを解説。クリエイターの心得を習得する。			
	2月	一度完成させた曲に対する修正やバリエーション制作を実践する。			
	3月				
成績評価	出席状況・授業態度20%、年4回の試験(作品提出)結果にて、4段階で評価する。				
その他	試験で制作した作品はのちの授業で発表、プレゼン。アウトプットの重要度を理解する。また、互いの評価で向上心を持ってもらう。				

令和2年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科		学年	2年	科目区分	必修 選択
科目名	課題制作		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期 後期・通年	単位	3単位	週または年コマ数		3コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		なし	
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、フリーとしてCM VPなどの映像制作、イベント制作、音楽レベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。					
授業概要 および 学習目標	前期課題の作業時間、進捗確認、プレゼン等					
授業計画	4月	ほか授業課題の整理とスケジュール作成				
	5月	グループワーク課題 / 個人課題 作業				
	6月	グループワーク課題 / 個人課題 作業				
	7月	グループワーク課題 / 個人課題 作業				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月					
	11月					
	12月					
	1月					
	2月					
	3月					
成績評価	課題の評価					
その他						

令和2年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	2年	科目区分	必修 選択
科目名	映像制作 I・II	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期(通年) 単位	13単位	週または年コマ数	前期 6コマ 後期7コマ	
担当教員	中村俊彦	使用テキスト	なし		
担当教員 実務経験概要	映像制作の中でも、演出・企画分野を中心に40年余り携わる。主にテレビ番組、CM、行政VP、企業案内、学校案内ビデオの企画・演出を担当。				
授業概要 および 学習目標	インターネットの普及・整備により映像作品は、多様化しています。映像制作の基本となる、企画を最重要とし、その企画を実践を通じて映像化していきます。学生が、映像制作会社に就職したときに、戦力として貢献できる授業内容となっています。				
授業計画	4月	実際の映像作品を参考に、どのように企画を立案し、映像化されたのかを知って貰う			
	5月	短い時間の映像を企画し、映像化します。実践を通じて撮影の基本を習得します。			
	6月	撮影後の、編集やMA作業を行います。			
	7月	卒業作品のための企画立案、準備にかかります。			
	8月	夏季休暇 (オリジナルシナリオの作成)			
	9月	夏季休暇 (オリジナルシナリオの作成、ロケハン、撮影の準備)			
	10月	卒業作品の撮影			
	11月	卒業作品の撮影			
	12月	卒業作品の編集、MA作業			
	1月	卒業作品の仕上げ、完成、追加撮影など			
	2月	完成、公開に向けての宣材制作			
	3月				
成績評価	出席状況50% 授業態度50%にて4段階で評価する				
その他					